

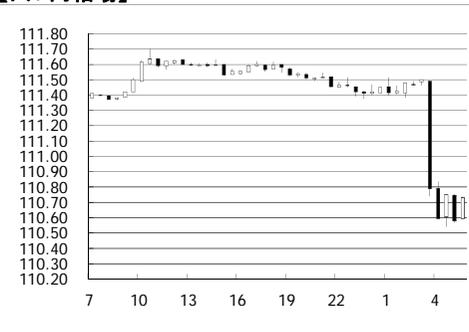
みずほCustomer Desk Report 2019/03/22号(As of 2019/03/20)

【昨日の市況概要】

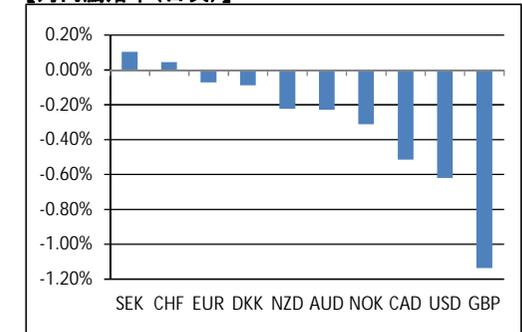
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.42	1.1355	126.53	1.3266	0.7087
SYD-NY High	111.70	1.1448	126.78	1.3271	0.7150
SYD-NY Low	110.54	1.1336	126.36	1.3147	0.7058
NY 5:00 PM	110.71	1.1413	126.36	1.3191	0.7117
NY DOW	25,745.67	▲141.71	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,728.97	5.02	日本10年債	-0.0400	1.00bp
S&P	2,824.23	▲8.34	米国2年債	2.3972	▲7.56bp
日経平均	21,608.92	42.07	米国5年債	2.3253	▲10.27bp
TOPIX	1,614.39	4.16	米国10年債	2.5236	▲9.32bp
シカゴ日経先物	21,290	▲130	独10年債	0.0825	▲1.65bp
ロンドンFT	7,291.01	▲32.99	英10年債	1.1550	▲3.00bp
DAX	11,603.89	▲184.52	豪10年債	1.9310	▲0.60bp
ハンセン指数	29,320.97	▲145.31	USDJPY 1M Vol	5.41	0.36%
上海総合	3,090.640	▲0.33	USDJPY 3M Vol	5.92	0.31%
NY金	1,301.70	▲4.80	USDJPY 6M Vol	6.44	0.31%
WTI	60.23	0.94	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	185.60	0.37	EURJPY 3M Vol	6.58	0.19%
ドルインデックス	95.76	▲0.62	EURJPY 6M Vol	7.15	0.02%

国際為替部 為替営業第二チーム

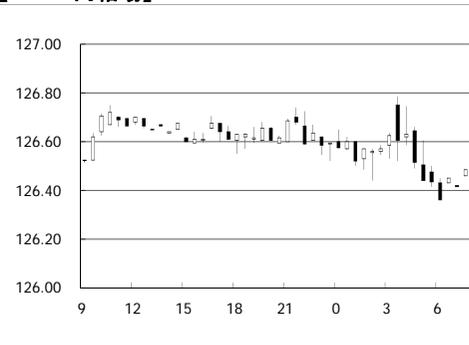
【ドル円相場】



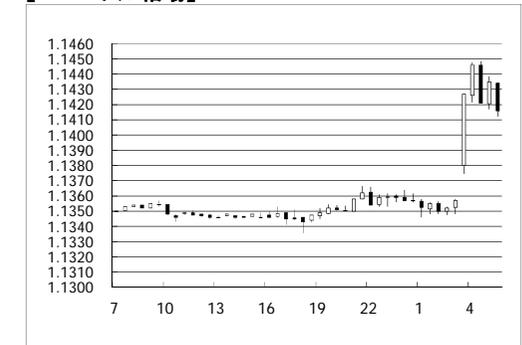
【対円騰落率(日次)】



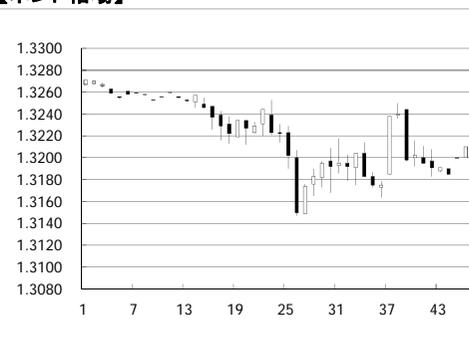
【ユーロ円相場】



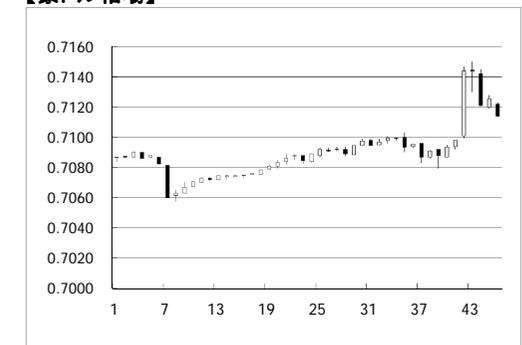
【ユーロドル相場】



【債券相場】



【豪ドル相場】



東京	東京時間のドル円は111.42レベルでスタート。五・十日のドル買いワロー等を受けて111.70迄上昇するも、それ以上は上値を追う展開とはならず。その後はFOMCの結果を控える中で、値幅は限定的なものとなり、111.56レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.56レベルでオープン。本日のFOMCを控え、様子見ムード。111.45~111.62の狭いレンジで推移、111.52レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3252レベルでオープン。メイ首相は、英国が6月30日までのEU離脱期限延期をEU側へ要請したことを下院で表明。6月末の合意なき離脱リスクがあらためて意識され、ポンドドル相場は下落1.3223レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.52レベルでNYオープン。朝方は米輸送サービス大手の利益見直し下方修正等を受け、株式市場が軟調に推移する動きに円買いが優勢となり、111.38まで下落する。その後は ロンドンフィックスに掛けてドル買いが優勢となり、ドル円は111.51まで戻す。注目のFOMCでは、スタッフの政策金利予想で今年の利上げはなく、来年の利上げが1回との見直しに加え、バランスシートの縮小を9月に停止することが明らかになった。事前にハト派な内容になるとの見方が強まっていたものの、今年の利上げ1回を見る向きもあったことや、バランスシート正常化は12月に停止と見てた参加者もいたことから、予想以上にハト派との見方が広がり、一気にドル売りが優勢となり、ドル円は110.74まで急落する。続いて開始されたパウエル議長の記者会見も特段サプライズはないものの全体的にハト派な印象で、ドル円は110.54まで下落する。終盤に掛けてはイベントを通過したことからやや値を戻し、110.71レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1358レベルでNYオープン。朝方はメイ首相がEUに対して6/30のブレグジット延長をしたとの発言を受け、事前予想通りではあったものの、期間が短く合意なき離脱懸念が強まり、ユーロポンドが上昇する動きにユーロドルも1.1366まで上昇する。その後は狭いレンジでの推移が暫く続くが、ロンドンフィックスに掛けてドル買いが優勢となり、1.1346まで反落する。午後はFOMC結果を受けたドル売りにユーロドルは1.1448まで戻す。終盤に掛けては調整から反落し、1.1413レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。